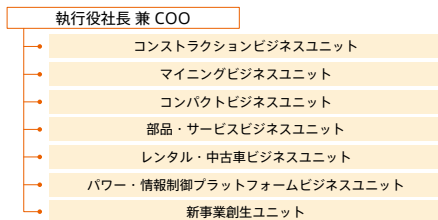


ビジネスユニット制の機能

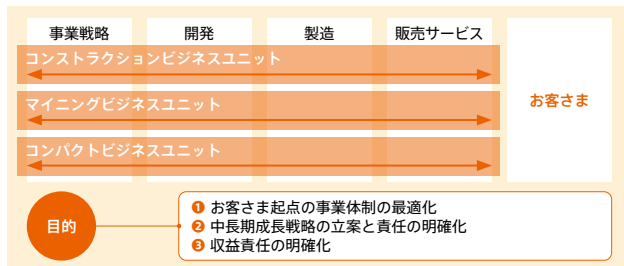
お客さま起点での事業体制の最適化を実践するため、2022年4月から導入したビジネスユニット制をさらに深化させています。各地域事業部でくみ取ったお客さまの声を各ビジネスユニットがスピード感を持って開発・製造・サービスへ反映し、より良い製品やサービスにつなげています。

ビジネスユニット制では、各ビジネスユニットがお客さまのニーズに応じて、開発・製造から販売後のアフターサービスまでを一貫して推進しています。お客さまの声が工場までダイレクトに伝わるこのような体制により、製品開発や課題解決を迅速に進め、お客さまに寄り添ったソリューションを提供します。



■ お客さま起点でのビジネスユニット制

部門横断的にスピーディーにお客さまの課題を解決



コンストラクションビジネスユニット

油圧ショベル：運転質量 10t 以上 100t 未満
ホイールローダー：エンジン出力 50kW 以上

大規模な宅地などの整地造成や道路、鉄道、河川などの社会インフラ整備に使用される製品です。燃料消費の低減を図ったハイブリッド方式や、ICT 施工を実現する ICT 建機など、お客さまの要望に合わせた製品を提供しています。



油圧ショベル



ホイールローダー



道路機械

強み・特徴

- ゼロ・エミッションへの対応のために、2022年4月に電動建機開発センター（現・電動建機開発部）を新設し、建設機械の脱炭素化に向けた取り組みを推進
- お客さまの多様なニーズに応える特殊仕様機など、応用製品開発を40年以上継続

戦略・トピック

- 従来の製品ラインアップに加え、デジタル機能を向上させた新製品を継続的に投入しながら、先進国、新興国ともに売上の拡大をめざす
- グローバル供給の拡大をめざし、各地域事業部の生産調達部門が連携
- 米州の独自展開の強化を図るとともに、中南米を含む新興国への進出をめざした活動を加速

マイニングビジネスユニット

油圧ショベル：運転質量 100t 以上
すべてのリジッドダンプトラック

世界中の露天掘り鉱山で1日20時間以上稼働し、鉱物を掘削・運搬する製品です。都市から離れた環境下での長時間稼働にも耐えうる品質と性能を兼ね備えています。



大型・超大型油圧ショベル



リジッドダンプトラック

強み・特徴

- 他ビジネスユニットに先駆けて、2017年から実質的なビジネスユニット化
- 鉱山運行管理システム（Fleet Management System：FMS）で、さまざまな鉱山でのミックスフリート（複数メーカーのダンプトラックの運行管理）の運営に実績を持つ
- 2024年4月、オーストラリアにて AHS のリモートサポートセンターを運用開始。さらに稼働機の24時間365日、リアルタイムの遠隔監視サポート体制を確立

戦略・トピック

- 世界に先駆けてエンジンレス・フル電動リジッドダンプトラックの実証試験を2024年6月よりお客さまの鉱山で開始し継続中。2027年度の製品化をめざし「ネット・ゼロ・エミッション・マイニング」で差異化を狙う

ビジネスユニット制の機能

コンパクトビジネスユニット

油圧ショベル：機械・運転質量 10t 未満
ホイールローダ：エンジン出力 50kW 未満

狭所での土木施工や解体などの都市土木をはじめ、除雪、農林業、造園、畜産までコンパクトなボディを活かし、さまざまな作業を機械化することにより、お客さまの課題である生産性の向上に寄与しています。



ミニショベル



ミニホイールローダ

強み・特徴

- 他のビジネスユニットと異なり、日立建機ティエラが軸となったユニット
- 2023 年 4 月に、日立建機本社内に事業戦略部を設置し、商品戦略策定の役割を日立建機ティエラから移すとともに、連携を強化

戦略・トピックス

- 2030 年度目標として世界シェア 2 桁を掲げる
- 現中計期間中に、取扱小売店の拡大を進める計画。デジタルを活用した小売店の実現にも取り組む
- 電動化建機の開発を推進（新たに 2t クラスをディマーク社と協業開発中）

部品・サービスビジネスユニット

強み・特徴

- 機械の保守においてライフサイクルコストと機械ダウンタイムの低減に貢献するサービスソリューション「ConSite」を提供。最先端の遠隔保守技術を活用した状態監視や情報分析ツール、運用システムを展開
- 純正部品に加え、SELECTED PARTS、再生部品をラインアップすることで、ライフサイクルコスト低減に寄与

戦略・トピックス

- 播州工場をグローバル再生事業のマザー工場と位置付け、海外の再生拠点との連携を強化することで、再生品の生産能力を拡張し、グローバル生産体制を確立
- サークュラーエコノミーの取り組みとして、再生部品の再利用率向上の研究開発を推進。主要コンポーネント部品の再生だけでなく、水没した機械や中古車を買取り、再生部品を活用してよみがえらせて販売する本体再製造の知見を各地域に展開

レンタル・中古車ビジネスユニット

強み・特徴

- メーカーならではの品質、地域密着のサポート体制により、レンタル・中古車の利活用を促進
- 環境負荷低減と経済性を両立する持続可能なソリューションを提供

戦略・トピックス

- グループ内レンタル資産および中古車在庫の一元管理システム構築により、域内外の中古車流通の活性化、効率化を推進
- 北米市場での代理店、独立系レンタル会社向け卸レンタル事業拡大により、稼働台数の増加をめざす

パワー・情報制御プラットフォームビジネスユニット

強み・特徴

- 油圧機器・減速機・電動機器・電子制御・ソフトウェア等の開発と、製造部門が一体となった組織で、統合的に機能をつくり込む
- 当社製品のコネクテッド化やデジタル化の開発を進める専門集団

戦略・トピックス

- 国内 IoT スタートアップの株式会社アプトポッドと 2023 年 5 月に資本業務提携契約を締結後、デジタルツインを用いた建設機械の遠隔操作や、自動運転を行うシステム開発などに共同で取り組み、施工現場の状況を仮想空間に再現する「リアルタイムデジタルツイン基盤」を開発

新事業創生ユニット

強み・特徴

- 先端技術・サービスなどのイノベーションを活用しながら、パートナーと共に、お客さまに対する新しい事業の開発と業務改革を推進

戦略・トピックス

- 2024 年 11 月に、グローバルなスタートアップを集めて当社との協業に向けたピッチイベント「日立建機チャレンジ 2024」を開催（応募：127 社）。選定企業との協業を開始し、建設領域でのイノベーションの取り込みを加速。今後はマイニング分野での取り組みも強化していく
- 生成 AI などの新しい技術により、社内のデジタル資産を活かしたビジネスユニットの業務改革・事業強化を推進